

2. いのちを守る

「害獣(ケモノ)にあわない」ことが肝心!



こわく 怖くて山や畑さ
行けねえ…
なじよしたら
いいんだ

まずクマや
イノシシにあわないよう
習性を知ることが
基本です!

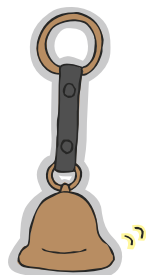


ケモノのいそうなところを避ける

よくケモノが目撃されている場所や、いま何を食べているかなど、地元に出没するケモノの習性をよく知って、活動する時期や時間帯や場所をさけて、であわないよう気を付ける。

自然の中に出ない音を出す

山や畑に入るときには、ラジオなどを鳴らす。歌をうたう、爆竹を鳴らす、木をたたきながら歩くなど、不自然な音を出す。



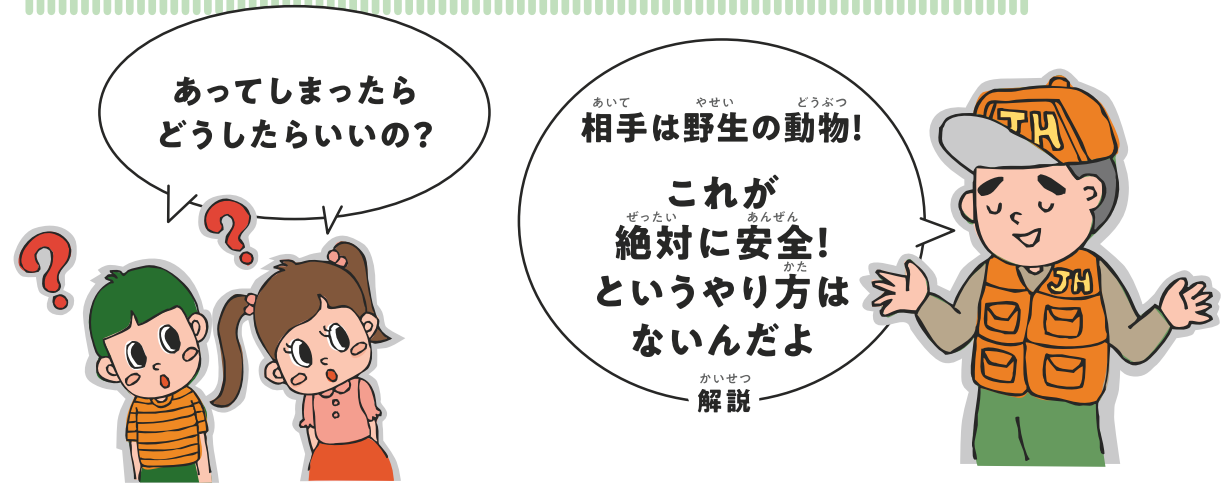
大きな音を出す

風や川の音に負けない
「大きくハッキリとした音」を出す。



害獣(ケモノ)による人身被害の防止

それでもクマやイノシシにであってしまったら!



あってしまったら
どうしたらいいの?

相手は野生の動物!

これが
絶対に安全!
というやり方は
ないんだよ

解説:「オスやメス」「子連れ」「大きさ」「人に慣れている」「臆病」「怒っている」「お腹が空いている」など、獣(ケモノ)の状態は様々だから。

ケモノとの距離感が大事!

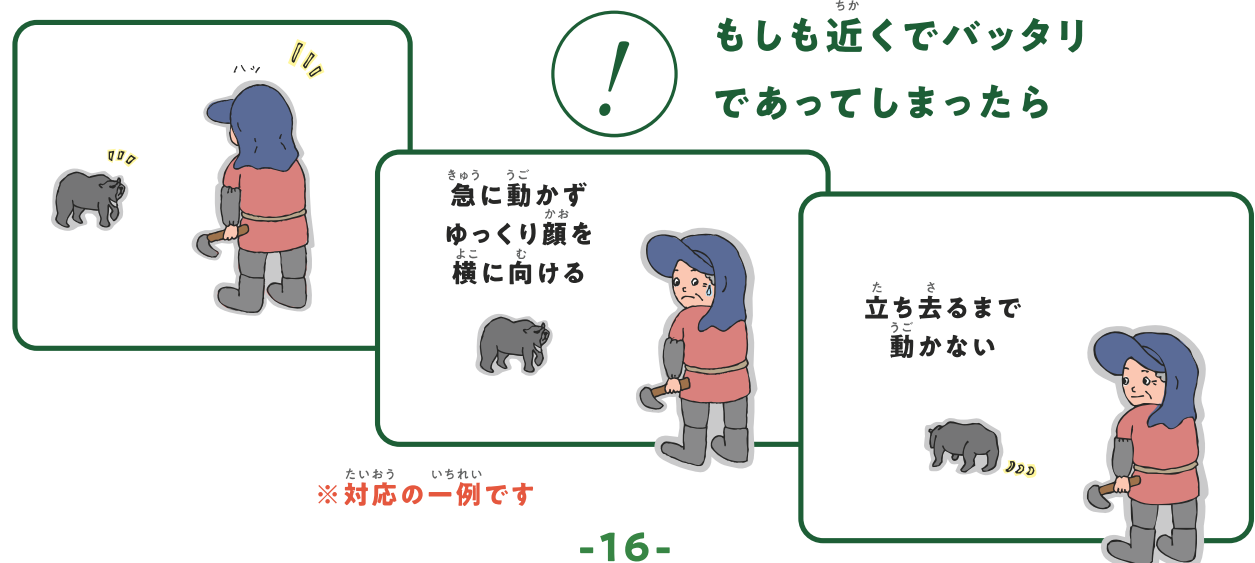
ケモノからどれくらい離れているかによって、身を守る行動も変わってきます。



運よく、ケモノとじゅうぶんに離れていたなら(こちらに気づいていない場合など)静かにその場を離れる。

「刺激をしない」「落ち着く」ことが大事です!

なるべく目を合わさない・声を出さない・刺激しない・驚かせない



※対応の一例です

守る

もしも害獣(ケモノ)に襲われたら!?

もしも急に襲われたらどうするのが正しい?

「目、首、頭、お腹を守る」

「じっとして動かない」「素早く!または ゆっくりと逃げる」

「ものを投げる」「木に登る」

「反撃する」「大声を出す」



いくつも身を守る方法がありますが

害獣(ケモノ)の種類や、であったときの状況が同じことはないから、害獣(ケモノ)がどんな動きをするのか予測することはとても難しく、



襲われたときにこうすれば絶対安全! というやり方はありません! 前のページでも話したけど大事なことで、二回言います



基本

身を守れる「モノや道具」を持っているとよい!

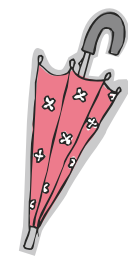


身を守ることが期待できる「モノや道具」の例

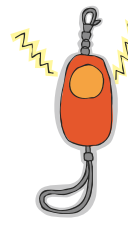
注:効果を保証するものではありません



◎撃退用スプレー:
害獣(ケモノ)の口や鼻に向けて正しく噴射すれば、追い払える可能性が高い。



△カサ:
近づいてくる害獣(ケモノ)に向かってカサを開くと、攻撃の速度を緩めるなど効果的な場合がある。
(ビニール傘など透明な素材は不適)



△防犯ブザー:
適正な距離で使用すれば、害獣(ケモノ)が高周波の大きな音に驚いて逃げる可能性がある。

害獣(ケモノ)に襲われたら

例えばイノシシは

イノシシは逃げ場所がないと感じるとまっすぐに突き進んでくるので、できるだけ高いところに登るか、寸前に素早く横に避ける!



例えばサルは

サルは自分より強そうな相手には向かってこないで、怖がらず堂々と行動する。大声を出して追いかける、石を投げる(ふりをする)、棒を手を持つなど、追い払う姿勢を見せることで「人間のほうが強い」と学習させる。



例えばクマは

クマに襲われたときは、背中を向け走って逃げず、ものかげに隠れたり、目や首や頭やお腹を守る!

※対応の一例です